



# 中野中学校だより

令和6年12月31日(火) 発行 第8号

## 『人権』(12月9日朝礼の校長講話)

おはようございます。令和6年(2024年)も、今日を入れてあと23日となりました。

今年の活動を通して、「中野中生一人ひとりが本当によく頑張っている」と、うれしさや感謝の気持ちのみならず、頼もしくも思っています。これからもよろしくお願いします。

さて、今日は、「**人権**」について話します。12/4(水)から、明日・10(火)までの1週間は、「第76回 人権週間」です。人類が初めて人権保障の目標や基準を国際的にうたった「世界人権宣言」が採択されたのは、終戦3年後の1948年12月10日でした。それにちなみ、明日の12/10が「世界人権デー」となりました。既に皆さんは、日本国憲法第11条で、日本国内にいる全ての人の人権が保障されていることを理解できていることと思います。

12月は、日本のみならず、世界中で人権を大切にしていこうとする取組を行っています。誰もが笑顔で過ごせるように、

「**思いやりをもって接すること**」

「**同じことばや態度であっても、相手によって受け取り方が違うこと**」

を改めて確認しましょう。



特に、暴力はどのような理由があっても許されません。人や物を、たたく・

蹴る・突き飛ばすなど だけでなく、ことばによる暴力も同じです。「ばか」「あほ」「うざい」「むかつく」「あっちへ行け」「消えろ」「くず」「死ね」「殺す」などのことばは、LINE や X などのSNSで見たり、実際に聞こえたりすると心が痛くなりますし、不愉快になります。

しかもそれらをSNSに、ことばや許可のない写真などで投稿したり、実際に言ったりしている人、ライングループなどを含めて周囲で一緒にいる人、心が痛くなったり不愉快になったりしても放っている人は、自分で自分の心を、知らないうちに傷付けています。

ぜひ皆さんには、よかったことやできたことを伝え合ったり、「**いいね**」「**ステキ**」「**ゆっくりいこう**」「**ありがとう**」「**おめでとう**」「**ドンマイ**」「**お疲れさま**」などの「**ポジティブワード(言葉)**」をどんどん使ったりして、誰もが笑顔で毎日を送れる環境を創ってもらえたらと願っています。

中野中生一人ひとりに「自分も仲間も大切にすることができる」というよいところがあります。「暴力はどのような理由があっても許されない」、改めて確認しておきましょう。

そこで、今月の意見交流テーマは「私の『人権宣言』」です。これから、どんな言葉や行動で生

活していくか、仲間に伝えるように、担任の先生から指示された交換ノート等を書いてください。意見交流後、更により考えをもって、仲間と一緒に校長室へ来てくれることを心待ちにしています。

「FOR2050(2050年に向けて)」のもと、今月も笑顔で毎日を送っていきましょう。

---

## 第74回 “社会を明るくする運動 作文コンテスト 中野区入賞作品紹介”

---



### 誰でも安心できる居場所を

中野中学校 1年 菊池 麻衣

私たちが暮らしている世の中には、様々な犯罪を犯す人がいます。その中には大人だけでなく、まだ子供の人もあります。では、なぜ犯罪を犯してしまうのでしょうか。それには、人それぞれの理由や事情があると思います。例えば、お金がなくてコンビニやスーパーで万引きをしてしまったり、日常生活によるストレスが溜まってしまい、犯罪を犯してしまうというケースもあると思います。このような犯罪を防止するためにはどうしたら良いのでしょうか。

まず、万引きについてだったらお店側は工夫しなければなりません。その工夫の中でも、防犯カメラを設置することが一番効果的だと思います。なぜなら防犯カメラを設置することによって怪しい人物が商品を取ったか見るだけで確信が持てるし、「防犯カメラを設置してます」というポスターを貼るだけでも万引きの防止になるからです。では、犯罪を犯す前にお金に困っている人はどうしたら良いのでしょうか。実は市役所や区役所には相談できる窓口があるので、そこでお金についてのアドバイスをしてもらうことができます。もしお金に困ったら市役所や区役所に行くと良いと思います。

次に、日常生活でストレスが溜まってしまい犯罪を犯してしまうことについてです。私はこのケースが一番犯罪に関わっていると思います。なぜなら、私は小学一年生の頃にこんな経験をしたからです。

ある女の子は勉強や友達関係など、自分の思い通りにならないとすぐにイライラして暴言を吐いたり暴力を振るってしまうことがありました。時には友達だけでなく上級生にも叩いたり蹴ったりなどの暴力を振るっていました。先生に怒られても無視したり反発したりしていたため、私の同級生はみんな怖がってほとんどの人がその子に近づこうとしませんでした。私も「何もしていない人にまでわざわざぶつかりに行ったりしてひどい」と思い、あまり関わりたくないという気持ちが大きくなった私はその子のことをなるべく避けるようにしていました。

ある日、私が小学校に登校している最中にその女の子が母子生活支援施設からランドセル

を背負って出て行く所を見かけたことがありました。私はその時「あの子は父親がいないのかな」と思うのと同時に少しだけあの子が可哀想だとも思いました。なぜなら、あくまで私の予想ですが今まであの子が暴言や暴力を振るっていたのは自分なりに心地よい居場所を作ろうとして目立ち、周りに反応してもらい話し相手を作ることによって自分が感じている寂しさを無くそうとしているからではないかと考えるようになったからです。でも、逆にその考えが仇となりみんなを怖がらせてしまったのではないのでしょうか。

私が二年生になるとその子は転校してしまったのであの時どんな気持ちだったのか、今どんな生活をしているのか分からないけどまた会う時があったら少し話してみたいと思いました。私は犯罪者が立ち直ったり、今の社会をもっと明るくするためには、人それぞれに合った「居場所」を作ってあげることがとても大切なことだと考えました。

---

## 研究主題 学校全体で取り組む生徒の体力向上と健康教育

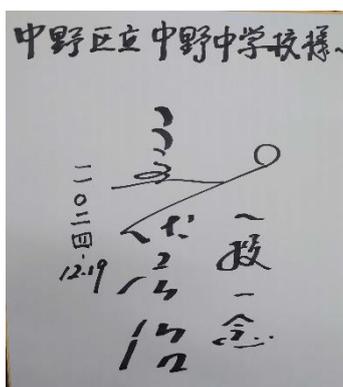
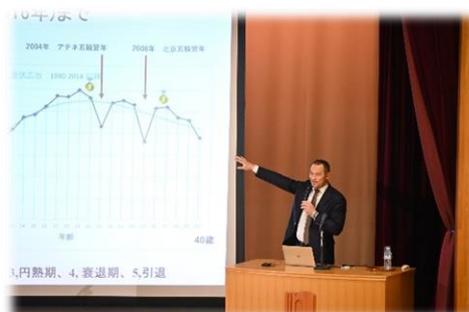
---

中野中は、令和5年度と令和6年度の2年間、中野区教育委員会「学校教育向上事業」の研究指定校、東京都体育健康教育推進校の研究指定校として、「学校全体で取り組む生徒の体力向上と健康教育」という研究主題で研究を進めています。

今年度も、研究の指導講師を、東京学芸大学副学長の鈴木 聡教授にお願いし、数々の授業研究等をしてきました。そして、その一環として、スポーツ庁長官 室伏 広治氏を講師に招いて、講演会を行いました。

<感想>

ただ筋トレをするのではなく、どこを鍛えたいのか、はっきりと目標をもって取り組むことが大切だとおっしゃっていたので、これから明確な目標をもってやっていきたいと思いました。



## 後期前半終業全校集会での校長講話



みなさん、こんにちは。先週末、とてもうれしい報告がありました。『美化強化日』を通して心を込めて校内を清掃し、中野中生一人ひとりが、今年の中野中への感謝の気持ちを、しっかりと表してくれた」という報告でした。おかげで、令和6年結びの今日を、気持ちよくスタートすることができました。報告してくれた先生方を始め、本当にうれしい一日でした。ありがとうございました。

中野中生一人ひとりに、「人や社会の役に立つことができる」というよいところがあります。よいところを更に伸ばしていきましょう。

さて、今日は、先日の全校朝礼における「人権」の続きとして、みなさんの大切な心と体を守るための話をします。みなさんの体や心は、みなさんそれぞれ、自分自身だけのものです。叩かれる、蹴られる、突き飛ばされるなどの肉体的に苦痛を感じるような行為だけが暴力ではありません。くり返し傷つく言葉を言われる、机を蹴られるなどの精神的に苦痛を感じる行為も暴力に含まれます。改めて確認しましょう。

**暴力は、どんな理由があっても、誰であっても、決して許されるものではありません。**

あってはいけないことなのですが、学校の先生やその他の人たちが、生徒のみなさんに対して、指導の際に、叩いたり、蹴ったりするなどの肉体的な苦痛を与える行為は、体罰といって禁止されています。肉体的な苦痛でなくても、繰り返しの暴言や心を傷つける言葉を言ったり、机を蹴ったりして威圧するなど、精神的な苦痛を与えることも不適切な行為になります。

また、相手が嫌がっているのに、体を触ったり、服で隠れている部分をのぞこうとしたり、性的な言葉を言ったり、LINEやメールで性的な言葉を送ったりするなど、性的な言葉や行動で、人を傷つけることを「性暴力」と言います。性暴力も、どのような理由があっても、誰であっても、決して許されるものではありません。

もし、自分が体罰や性暴力の被害に遭いそうになったら、または被害に遭ってしまったら、一人で抱え込んだり悩んだりしないで、家族や先生、養護教諭、スクールカウンセラーなどの信頼できる大人に知らせてください。性暴力を受けている相手が学校にいる先生だった場合や、体罰のことを学校に話しにくい場合には、みなさんが学校以外にも、話せる場所をつくっています。学校の先生や大人にも話しにくい場合は、夏休み前に配ったこの用紙を、本日このあとの学活でまた配りますので、この用紙に書かれているメールアドレスやQRコードで読み取った先の電話番号に連絡すると、体罰や性暴力に関する話を聞いてくれて、みなさんのことを助けてくれます。また、この用紙に話したいことを書いて、糊付けをすれば、切手無しでも郵送で送ることができますし、インターネットからも回答が可能です。自分が体罰や性暴力を受けていなくても、友だちが体罰や性暴力を受けていると思ったときも、迷わず知らせてください。

校長先生も先生たちも、生徒のみなさんの心と体を大切に守りたいと思っています。そのためにも、ぜひ一人で悩まないで、知らせてください。

他にも、不安や悩み、困ったことなどがある場合も、信頼できる3人以上の大人に「SOS」を出してください。相談できる大人が見つからないときは、皆さんのiPadにダウンロードした「中野区SNS相談窓口『STANDBY』」をはじめ、電話やメールによる相談先を、本日改めてGoogle Classroomの各クラスに添付しますので、ぜひ、利用してください。「SOS」を出すことが、様々な悩みを解決する第一歩です。

1月8日(水)、さわやかなあいさつで、笑顔の皆さんに会えることを楽しみにしています。

「FOR2050(2050年に向けて)」、冬休みも笑顔で毎日を送っていきましょう。